

令和8年度 社会科1年 年間指導計画

			知識・技能	社会的な思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔地理〕第1部 世界のさまざまな地域					
4月	1章	世界の姿	世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。	国名や国旗、国境線の特色から、その国の歴史や文化についてわかることや、さまざまな種類の世界地図の特徴を考察している。	地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。
	2章	日本の姿			
〔地理〕第2部 世界の諸地域					
5月	1章	人々の生活と環境	世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。 多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。	世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。 アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結びつきなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。	世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。 急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
6月	2章	世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目してヨーロッパ州の地域的特色について自然環境、文化、産業の特色を大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。	空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	他地域との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を、よりよい社会の実現を視野に入れて主体的に追究しようとしている。
7月			アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。	アフリカ州の輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察し表現している。	ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。
9月			世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。	北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子をもとに、多面的・多角的に考察している。	世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。
10月			多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめている。	ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連づけて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。	農地や鉱山の開発に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と開発に伴う環境問題について主体的に追究しようとしている。
10月			オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。	オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。	オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。
〔地理〕第3部 日本の様々な地域					
11月	1章	身近な地域の調査	地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。	対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取り上げ、それらを多面的・多角的に調査、考察している。	対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。
〔歴史〕					
11月	第1章	歴史のとらえ方と調べ方	年代の表し方や時代区分の意味や意義について基本的な内容を理解している。 資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身につけている。	時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。	地域によって時代区分が異なることを理解し、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる多様性や背景を主体的に追究しようとしている。
12月	第2章	古代国家の成立と東アジア	日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、ヤマト王権による統一の様子と東アジアとの関わりなどをもとに、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解している。	古代文明や宗教がおこった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治、文化の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野に「国づくりが行われていった古代の社会には、どのような特色があったのだろうか」という「章の問い」を主体的に追究しようとしている。
1月			律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などをもとに、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 仏教の伝来とその影響、かな文字の成立などをもとに、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。	古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	
1月	第3章	武家政権の成長と東アジア	鎌倉幕府の成立などをもとに、武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、蒙古襲来(元寇)がユーラシアの変化のなかで起こったことを理解している。	武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	中世の日本について、よりよい社会の実現を視野に「武士による政治が行われたことによって、社会はどのように変化したのだろうか」という「章の問い」を主体的に追究しようとしている。
2月			南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などをもとに、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりがみられたことを理解している。 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などをもとに、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	
2月	第4章	武家政権の展開と世界の動き	ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。	交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と政策の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	近世の日本について、よりよい社会の実現を視野に「全国を統一する政権の誕生によって、社会はどのように変化したのだろうか」という「章の問い」を主体的に追究しようとしている。
3月			ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。	近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	

評価方法

知識・技能	社会的な思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査、小テスト、プリント	定期考査、小テスト、レポート、プリント	提出物、授業内の活動、小テスト振り返り